

中学から陸上を始め、顧問の新 17 依田さんの厳しい指導に耐えて頑張ったものの 1500m が 5 分 3 秒止まりだったので、ランには才能がないと判断して、高校では剣道部に入部したのですが、剣道にはもっと才能がない事が判明しました。高 2 で陸上部に戻り、1 年後輩の新 28 二口さんに同級生と間違えられながらも練習に打ち込み、高 3 になって一気に 4 分 28 秒まで這い上がったのですがインターハイは県大会へ行けませんでした。大学では本文である学業を疎かにしてまで頑張り、なんとか 5000m で学内歴代 5 位まで記録を伸ばしましたが、関西インカレは予選落ちというレベルで終わりました。卒業後 2 年間はブラック企業で練習さえできなかったのですが、転職後は昼休みや定時後に練習時間が確保できるようになり、走れることに感謝、貴重な時間に集中して練習したら 28 歳で 1 分 57 秒と 4 分 02 秒の生涯ベストが出ましたが、その後、毎年、記録は低下していき、結婚して子供もでき、競技からは離れていきました。

	校内	神戸市	関西	日本	世界ランク	種目・記録・AP
中 1	3 位					1500m 5:52(66%)
中 3	6 位					1500m 5:03(73%)
高 2		ケツ 2				1500m 5:16.9(68%)
高 3		6 位				1500m 4:28.4(79%)
大学	学内歴代 5 位、関カレ 1 部予選落ち					5000m 15:56.5(79%)
25 歳	大阪実業団 3 位					800m 2:02.4(81%)
28 歳	関西実業団 8 位					800m 1:57.4(86%)
54 歳	三商戦 OP1500 5:44					800m 2:38.39(76%)
55 歳	私の競歩の先生は市大 OB の辻谷さんです。大学 3 年の三商戦の 5000 mにおいて私が周回間違いの幻の優勝をした時の真の優勝者という因縁があります。			800mM55 全日本 1 位	(70 位)	800m 2:20.08(87%)
60 歳				800mM60 全日本 1 位	(50 位)	800m 2:27.43(85%)
65 歳				全日本はコロナで中止	(30 位)	800m 2:37.70(83%)
66 歳				競歩に転向		3000W 18:31.22(75%)
67 歳				3000W M65 全日本 1 位	6 位	3000W 16:49.98(83%)
68 歳				3000W M65 全日本 1 位	(3 位)	3000W 16:07.28(89%)

転機が訪れたのは 15 年ほど前です。なんと、まだ 50 歳を越えたばかりなのに電車で若者に席を譲られるというショッキングな出来事があったのです。筋肉が削げ落ちた脚、ブヨブヨになった腹、これはいかんと思い、一念発起してトレーニング再開、志は高く『65 歳で日本一、80 歳で世界一』を目標に、マスターズ陸上に参戦しました。

マスターズ陸上においては Age Performance(当該年齢の世界記録相当対する達成率)という指標があり、加齢により記録は低下しても AP は上げることもできるので、記録ではなく AP を意識して競技をしています。55 歳の時 800m で日本一になった時は嬉しくて『もうこの世に残す事は無い』と思いました。しかし、冷静に分析すると、AP は 28 歳の頃と同程度なので、私がスーパーになったのではなく、私の年代にスーパーな人がいなくなったというのが真相のようです。

マスターズにも世界ランキング(年齢区分 5 歳刻み)があります。ただし、このランキングは欧米の人達が作っていて日本人の記録はあまり反映されていないのですが目安にはなります。800m においては日本一でも世界ランクは 70 位相当で、65 歳で 30 位相当まで上がったものの世界との差はまだあるなと思っていましたが、3 年前に競歩に転向したところ、なんと 2023 年には 6 位にランクインして『もうこの世に残す事は無い (その 2)』になりました。今年は 3 位相当まで上がってきたので、70 歳になったら世界と勝負したいと思っています。